

施策番号	0102		
施策名	低炭素型のくらしやまちづくりの実現		
概要	低炭素型のくらしやまちづくりのために、環境に優しいライフスタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用など、省エネ省資源化に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部、地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に係る主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画, 京都市自動車環境対策計画(2011～2020), 京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉, 京都市環境モデル都市行動計画		

施策の評価

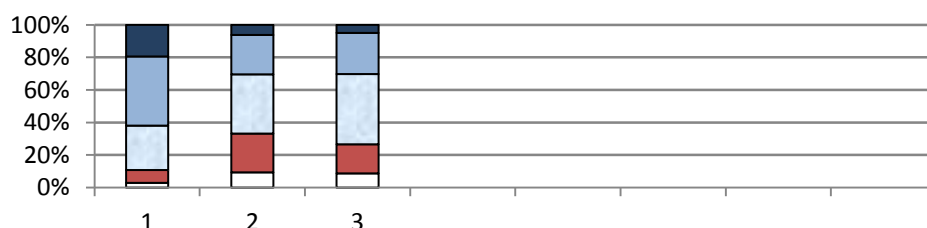
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	新規エコドライバーズ宣言者数(人)	a	b	15,868	15,792	20,000	79.0%	b	1.00
2	エコライフ活動実施人数(人)	-	a	292,642	350,797	148,000	237.0%	a	0.50
3	「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)	b	a	229	239	250	95.6%	a	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	106 19.4%	232 42.5%	149 27.3%	43 7.9%	16 2.9%	546	b
2	太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	33 6.2%	129 24.2%	194 36.4%	127 23.8%	50 9.4%	533	c
3	京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	26 4.9%	133 25.3%	227 43.2%	94 17.9%	46 8.7%	526	c
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の皆様や事業者の方々により展開されるエコドライブや環境にやさしい活動は、行政の取組だけでなく各々の意識啓発が大切であることから、市民の実感に重みを置く。						24 年度	B
(原因分析) ・自動車関連団体と連携し、エコドライブ推進月間(11月)における啓発イベントや運転免許の取得時等にエコドライブ教室を開催し、エコドライブの普及拡大を図ったものの、新規エコドライバース宣言者数は、運転免許の新規取得者が大きく減少していること等から昨年度と同程度であり、目標値を達成できなかった。 ・エコライフ活動実施人数については、家族ぐるみ、地域ぐるみでライフスタイルの転換を図るため実施した事業数及びその参加者数が増加し、目標値を達成した。 ・「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数については、「DO YOU KYOTO?」のラッピングバス運行やDO YOU KYOTO?ホームページ等により事業の周知を行い、昨年度に比べて増加した。						23 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	地球温暖化対策条例の推進	52,730	85,904	良い	環境政策局
2	地球温暖化対策産業・業務部門	69,699	64,199	良い	環境政策局
3	京のアジェンダ21推進事業	19,311	21,373	普通	環境政策局
4	「DO YOU KYOTO?」プロジェクト147万人推進事業	17,022	20,521	良い	環境政策局
5	環境未来都市推進事業	33,704	5,967	—	環境政策局
6	再生可能エネルギー利用推進事業	208,608	226,577	良い	環境政策局
7	「DO YOU KYOTO?クレジット」を活用した地域や中小事業者の排出削減促進事業	15,108	29,171	かなり悪い	環境政策局
8	環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクト	6,529	8,521	良い	環境政策局
9	低炭素のモデル地区「エコ学区」事業	50,792	—	かなり良い	環境政策局
10	「エコ学区」事業	—	66,585	—	環境政策局
11	地球温暖化対策市役所率先実行部門	15,214	12,708	かなり良い	環境政策局
12	京都環境賞	4,431	4,483	普通	環境政策局
13	環境保全活動の普及啓発	23,887	23,548	良い	環境政策局
14	省エネルギー型事業活動の推進 (KES認証取得の促進)	2,131	2,238	良い	環境政策局
15	エコドライブ推進事業	16,120	11,804	良い	環境政策局
16	モデルハウス管理	1,711	1,594	普通	産業観光局
17	スマートシティ京都プロジェクト	21,780	70,835	—	産業観光局
18	グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト	—	58,533	—	産業観光局
19	東部クリーンセンター跡地活用及び余熱施設大規模改修	51,562	588,713	—	環境政策局
20	自動車環境対策	20,896	12,997	—	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・自動車関連団体との連携を拡大し、エコドライブ推進月間における啓発イベントの実施やエコドライブ教室開催等の取組により、引き続きエコドライブの普及拡大を図る。
・市民の皆様や事業者の方々に、引き続き「DO YOU KYOTO?」の関連イベントや事業を周知する。
・地域ぐるみでライフスタイルの転換を図る「エコ学区」事業等を通じ、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践する『京都流ライフスタイル』の普及啓発に努める。
・以上のことにより、市民の皆様や事業者の方々と一体となった取組を続けていくことで市民生活実感評価の向上を図る。

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現					
-----	------	-------------------	--	--	--	--	--

指標名	新規エコドライバーズ宣言者数(人)						
-----	-------------------	--	--	--	--	--	--

担当課	環境管理課			連絡先	2 1 3 - 0 9 3 0		
-----	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」に取り組むことを新しく宣言した人数

2 指標の意味

低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい運転方法の普及状況を計る指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	15,868	15,792	76人減	20,000	京都市自動車環境対策計画<2011～2020>に基づき、毎年2万人ずつの増加を目指す。	79.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		毎年2万人	32年度	79.0%	京都市自動車環境対策計画<2011～2020>

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：75%以上～100%未満
c：50%以上～75%未満
d：25%以上～50%未満
e：25%未満

6 基準説明

当該指標については目標達成の100%以上をa、以下25%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	b	b

1 指標の説明

低炭素社会実現に向けた先進的な取組を総合的に実践する「低炭素のモデル地区『エコ学区』事業」の参加者数など、ライフスタイルの転換に向けた実践行動を推進する事業の参加者数

2 指標の意味

低炭素社会の実現に向けた京都流ライフスタイルへの転換状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：地球温暖化対策室等で実施する事業への参加者数の合計
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	292,642	350,797	58,155人増加	148,000	平成32年度の数値目標（74万人）達成のために当年度達成すべき数値	237.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		74万	32年度	87.0%	京都市民147万人の半数を目標とする。

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

家庭からの温室効果ガス排出量は増加傾向にあり、その抑制は、低炭素のまちづくりに大きく寄与する。このことから、多数の市民に参加いただけることが重要であるが、個人の方のライフスタイルに関わる活動であることから80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
-	a	a

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現					
指標名	「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)						
担当課	地球温暖化対策室		連絡先	2 2 2 - 4 5 5 5			
1 指標の説明							
「DO YOU KYOTO?デー」(毎月16日)における統一行動(ライトダウン, ノーマイカーデーなど)の協力(登録)団体数							
2 指標の意味							
低炭素社会の実現に向けた京都流ライフスタイルの定着状況を示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典: 事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	229	239	10社増	250	平成32年度の数値目標(450)達成のために当年度達成すべき数値	95.6%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		450	32年度	53.1%			事業課にて設定
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a: 80%以上 b: 60%以上～80%未満 c: 40%以上～60%未満 d: 20%以上～40%未満 e: 20%未満			6 基準説明				
			市民・事業者の皆様と共に, 地球温暖化防止の取組を啓発することは, 温室効果ガス排出量の抑制に大きく寄与する。多数の市民・事業者に賛同いただくことが重要であるが, 本市が定めた統一行動への十分な理解と協力が不可欠であることから80%以上をa, 以下20%刻みで基準を設定した。				
			23	24	25		
			b	a	a		